

平成 30 年度第 1 回奄美市総合教育会議

日時：平成 30 年 7 月 23 日（月）9：30～

場所：本庁舎 5 階第 1 委員会室

出席委員：（市長 部 局）朝山 毅 市長

（教育委員会）要田 憲雄 教育長

恵上 イサ子 教育長職務代理者

元井 孝信 教育委員

當郷 裕之 教育委員

西 正和 教育委員

議 事 録

○市長あいさつ

平成 27 年度の教育行政の改革により，教育会議を設置，首長が招集することとなった。

この制度により，教育長を議会の議決を経て，市長が選任することとなり，今年，議会の満場一致により要田憲雄教育長に，教育行政の長として皆様方と奄美市の教育行政を進めていただくこととなった。

教育行政の重要性，そして市長部局との連携をさらに育み，地域の改革，青少年の育成，福祉行政との連携等により，より住みやすい環境づくりのための改革ではないかと思う。

将来を担っていく子どもたちのより良い環境づくり，そして健全な子どもたちの成長のため，更なる連携を図りながら努めてまいりたい。

教育委員の先生方には，大変ご苦勞の多い中，引き続きお力添えを賜りたい。

○事務局説明

平成 27 年度に行われた教育委員会制度改正の概要説明

○協議事項(1) 『奄美市教育大綱改定について』

本大綱は，「奄美市総合計画」，毎年度作成の「地域に根ざしたふるさと教育」を基に策定されている。

その上で今回の大綱改定案は，国が示した「第 3 期の教育振興基本計画」における「今後の教育政策に関する基本的方針」をとらえた内容となっている。

結果的に，全般的には大きな変更はないが，学校と地域の連携の必要性を端的に表すため，平成 29 年度から奄美市教育委員会の基本方針を「共に生きる教育」から「地域に根ざしたふるさと教育」に変更したことを受けた改正もしている。

今回は，これまでの大綱の方向性を維持継承し，軽微な文言の修正と，国の第 3 期教育振興基本計画の反映等が，改定の主な内容となっていることから，この場の合意

をもって新大綱として決定し、市のホームページ等にて公表することとする。

○その他の確認事項

① 教育委員会各課の現状報告

(教委総務課)

昭和 40 年代に建設された学校施設の老朽化対策が重要な課題。

コスト縮減や予算の平準化を検討しながら取り組んで参りたい。

(学校教育課)

本市の学校における課題の 1 つである学力向上について

- ・ 学校における授業改善の結果が出ている。授業改善・家庭学習の習慣化への取組を強化し、更なる向上を目指す。
- ・ 今年度 8 月から A L T を増員し、4 名態勢で外国語科の授業の充実を図る。さらに県の英語専科加配 1 名により朝日小学校と伊津部小学校で小学校外国語科の研究中。
- ・ 授業の充実に向け、全ての普通教室に電子黒板を導入

(生涯学習課)

ハード面

- ・ 市民交流センター
平成 32 年 12 月 竣工予定
- ・ 奄美振興会館の大規模改修計画
本年度 雨漏り防水工事予定
平成 31 年度～ 長寿命化調査・大規模改修に関し計画を策定予定
- ・ 金久分館改修
耐震調査実施後、改修計画が必要性を検討

ソフト面

- ・ 生涯学習講座 地域の特性を生かした講座、健康づくり等の講座、
高齢者対象の健寿大学等
今年度 99 講座 2,264 人受講
- ・ 児童生徒の地域学習、交流
奄美こども環境調査隊事業 平成 29 年度～
ふるさとリーダー奄美塾

(文化財課)

- ・ 施設の管理運営
奄美の歴史・文化・自然に関する情報提供
各館の現状
奄美博物館 (名瀬)

(今年度) エレベータの改修工事・リニューアル事業

歴史民俗資料館 (笠利)

公民館との複合的な施設の可能性を検討

宇宿貝塚史跡公園 (笠利)

(今年度) 空調機改修工事を計画

今後、抜本的な屋根の改修工事等大規模な改修を検討

・文化財保護業務 (保護及び維持管理、整備活用に関する事業を所管)

「奄美群島シマ遺産」の保存と継承

指定文化財にはなっていない奄美群島の歴史・文化・自然に関し

て欠かせないものや地域住民が大事に継承しているもの

(スポーツ推進課)

- ・生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進
- ・総合型地域スポーツクラブの支援
- ・スポーツ合宿の充実
- ・第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」の準備態勢の充実

(学校給食センター)

本年9月～奄美市立学校給食センターが本格稼働

(住用地域教育課)

- ・児童生徒の増加に向けた取組
- ・住用公民館の課題について検討

(笠利地域教育課)

- ・伝統文化等に関する教育の推進
- ・公民館の老朽化対策

② 教育委員からの意見

- ・先日奄美市の学校給食センターを視察した。素晴らしい給食センターが出来上がり誇りを感じる。完全に無菌状態の中で安心安全な食を子供たちに提供できるということをもっと細かく各保護者へもPRしてほしい。アレルギーのお子さんには4名の給食員がついてそれぞれの給食を作るという、もう昔では考えられないぐらいの至れり尽くせりで、子供たちにかかる思いや、財政面のことをもう少し細かく書いたパンフレットとかを作成し、PRしていただけたらと思う。
- ・市長部局に権限が移り市長自ら教育大綱に携わり、市長がおっしゃる「まちづくりは人づくり」、その人づくりはこの地域に根差したふるさと教育にあるのだとの思いがこの大綱の中に具体的に示されている。その具現化を踏まえて28校の学校訪問を行っている。

1人で生きていく力をつけていくふるさと教育をやっている途中。行政との連携がう

まく行っていると感じている。これからもっと自分たちの生まれ育った故郷奄美を自分の生きる礎として生きていける子供たちに育って行ってくれたらいいという思いで今日のこの会に参加させていただいた。

給食センターの話が出たが、先日、元全国栄養士会の会長、副会長がお見えになって、給食センターを見学して日本一だと思うところがいくつかあったと、先ほど他の委員が言ったように誇りにしないといけないとの方々がおっしゃっていた。子供たちが安全安心な命を携えていく施設が出来上がったこと、いろんな工面をしながら施設が出来上がったと思うと感慨深いものがあった。これからも市長部局と教育行政がうまくかみ合っているよう努力をし、できる範囲でやっていきたいと感じた。